

上八坂神社 略記

鎮座地 大正区三軒家東二丁目七番一八号
御祭神 御正殿 素盞鳴尊
櫛稲田姫

配神 天之穗日命
応神天皇

末社第一殿 天一根命（姫嶋龍神）
末社第二殿 菅原道真公（天満宮）

由緒

当神社は、三軒家村の開発の大功労者である中村勘助（木津の勘助）が、京都の祇園社・八坂神社の御分霊を正保四年九月（一六四六年）に勧請したのが起源である。

社殿は、始め三軒家東二丁目の中央にあたる所（丸島）に建立されたが、宝永四年の大津波にて流失、正徳年間に現在地に再建された。

当地は、大正区内一の高台で、既に姫嶋龍神が鎮座されていたと思われる。大正八年、中村勘助彰徳会を興し境内に彰徳碑を建立した。

昭和二十年三月戦災により社殿は焼失したが、その後昭和三十二年五月に再建され、平成八年十一月御鎮座三五〇年祭を盛大に斎行した。

末社・姫嶋龍神は、遙か昔、新羅の国で赤い玉から生まれたアカルヒメ（姫乎曾神）が、老岐の姫島・唐津の姫島・国東の姫島を経て、チヌの海（大阪湾）の孤島・姫嶋に、住吉の大神を頼って、天日矛（出石大神）からの逃避行を果たし、御鎮座された。

古事記に、イザナギ・イザナミの国生み神話の段で、最後に生まれおちる孤島・姫島を天一根命という。悪縁を絶ち、良縁を結ぶ、女人守護の姫神である。

祭典

| | |
|-----|---------|
| 歳旦祭 | 元旦 |
| 節分祭 | 二月三日 |
| 春大祭 | 四月十七日 |
| 夏祭 | 七月中旬の土日 |
| 秋例祭 | 十月十七日 |
| 姫嶋祭 | 五月二十三日 |

古事記物語（神話篇）

- ・造化の三神（天御中主・高御産巢日・神産巢日）
- ・別天神五柱（ウマシアシカビヒコジ・天之常立）、
神代七代（国之常立～イザナギ・イザナミ）
- ・イザナギ・イザナミの国生み（ヒルコ・淡島～日本列島～自然の神々）
- ・イザナミの死（ヒノカグチ）～黄泉の国へ
- ・イザナギ生還～禊祓～諸々の祓戸大神～
三貴子の誕生（アマテル・ツキヨミ・スサノオの分治）
- ・スサノオ高天原へ～ごなんさんじよの誓約～岩戸隠れ～
アメノウズメの乱舞～大笑い
- ・スサノウ追放～出雲降臨～八岐大蛇退治～
クシナダヒメと成婚（八雲立つ出雲八重垣妻籠みに・
- ・因幡の白兔～ヤガミヒメ～八十兄神の迫害～
オオクニヌシ黄泉の国の試練～スセリヒメ
- ・オオクニヌシの国づくり～ヌナカワヒメ～スクナヒコナ～大物主
- ・中津国の乗っ取り（アメノホヒ・ワカヒコの和平交渉～建御雷の武力派遣）
- ・オオクニヌシの国譲り（出雲大社の創建）
- ・天孫降臨（ニニギ）～コノハナサクヤヒメとの出会い～
火中での出産（ホデリ・ホスセリ・ホオリ）
- ・海幸彦・山幸彦～龍宮城のトヨタマヒメ～
出産（ウガヤフキアエズノミコト）～陸海遮断
- ・ウガヤ、乳母のタマヨリヒメと結婚～
カムヤマトイワレヒコ（神武天皇）誕生
- ・イワレヒコの東進～ニギハヤヒの禪譲（不戦の誓い）～
初代天皇橿原で即位